

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
【発行日】 令和 7 年 5 月 19 日 (2025.5.19)

【国際公開番号】 WO2024/252557
【出願番号】 特願 2024-513060 (P2024-513060)

【国際特許分類】
G 0 1 N 2 1 / 0 3 (2 0 0 6 . 0 1)
G 0 1 N 2 1 / 5 9 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

G 0 1 N 2 1 / 0 3 Z
G 0 1 N 2 1 / 5 9 Z

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 2 月 26 日 (2024.2.26)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

水平断面において長手方向と短手方向を有する収容部と、前記収容部の長手方向に沿った側面から短手方向に沿って外側へと延びる凸部と、を備え、試料が収容される光学セルを備える、吸光光度法によって試料の濃度を測定する濃度測定装置であって、前記光学セルを受容する受容部であって、所定方向においてのみ前記凸部を受容する凹部を有する受容部を備える、濃度測定装置。

【請求項 2】

前記収容部の短手方向に沿った側面に対向する位置に、発光部と受光部を備えることにより、前記収容部の長手方向に沿って試料に光を照射し、試料を透過した光を受光するように構成された、請求項 1 に記載の濃度測定装置。

30

【請求項 3】

前記収容部の長手方向に沿った側面に対向する位置に、試料温度センサを備える、請求項 1 に記載の濃度測定装置。

【請求項 4】

前記試料温度センサの測定対象範囲の高さ範囲内に、前記発光部から前記受光部へと至る光路の高さが位置するように配置されている、請求項 3 に記載の濃度測定装置。

【請求項 5】

前記試料温度センサが、前記凸部が形成されている側面とは反対側の側面に対向するように設けられている、請求項 3 に記載の濃度測定装置。

40

【請求項 6】

前記発光部及び前記受光部よりも下側であって前記収容部と対向する位置に配されたセル挿入センサを備え、

前記セル挿入センサによって前記光学セルの挿入が検知された後に、前記発光部と前記受光部によってリファレンスとしての前記光学セル自体の透過率若しくは吸光度情報を取得する処理を実行する、請求項 2 に記載の濃度測定装置。

【請求項 7】

前記発光部及び前記受光部よりも上側であって前記収容部と対向する位置に配された試料検知センサを備え、

前記試料検知センサによって前記光学セルへの試料の注入が検知されてから所定時間経

50

過後に、前記試料温度センサによる温度情報の取得処理、及び、前記発光部と前記受光部による試料の透過率若しくは吸光度情報の取得処理を実行する、請求項 3 に記載の濃度測定装置。

【請求項 8】

吸光光度法によって試料の濃度を測定する濃度測定装置において、試料が収容される光学セルであって、

水平断面において長手方向と短手方向を有する略矩形の形状を有する収容部と、

前記収容部の長手方向に沿った側面から短手方向に沿って外側へと延びる凸部と、

水平断面の断面積が前記収容部よりも大きく形成され、前記光学セルの上端部に形成された注入口部と、

水平断面の断面積が前記収容部よりも大きく形成され、前記注入口部と前記収容部との間に位置する導入部と、

を備え、

前記収容部及び前記導入部の前記凸部が形成されている側面とは反対側の側面が、連続する平面として形成されている、光学セル。

【請求項 9】

前記凸部が、板状若しくはハネ状の部材である、請求項 8 に記載の光学セル。

10

20

30

40

50